

環境活動報告書 2018



アルプス薬品工業株式会社

Alps Pharmaceutical Ind.Co.,Ltd

ごあいさつ

私たちアルプス薬品工業は”医薬品メーカーとしての自覚と誇りを持ち、最良の技術で、お客様にとって最高の製品を提供し世界に貢献する”の基本理念のもと、お客様に高品質で安心して使用して頂ける製品を提供し続けるとともに、安心、信頼を得られる様に全社一丸となって日々努力して参ります。

当社は、医薬品原料の製造において、環境負荷の削減に努め、廃棄物の削減やリサイクル化、省資源・省エネルギーの推進活動も積極的に行っております。

また、国内外の環境に関わる法規制及び当社が受け入れた要求事項を順守し、地域社会とのコミュニケーションを図るなど、当社の環境方針に従い、社会に対する責任を果たすべく取り組んで参ります。

世界的に環境問題への関心が高まっている現在、環境・健康・安全への配慮を経営上の重要課題ととらえ、EHSリスク改善を全社的に進め、広い視野に立った環境保全活動に努めています。

私達の事業活動は、環境への影響を少なからず与えている事を正しく理解し、アルプス薬品工業が果たすべき責任と役割を認識し、環境保全活動を経営課題の一つとして取り組んで参ります。



代表取締役社長

牛丸 理

企業理念

ミッション(ALPSの使命・存在意義)

医薬品メーカーとしての自覚と誇りを持ち、最良の技術で、お客様にとって最高の製品を提供し、世界に貢献する

ビジョン(ミッションをはたすための組織のあるべき姿)

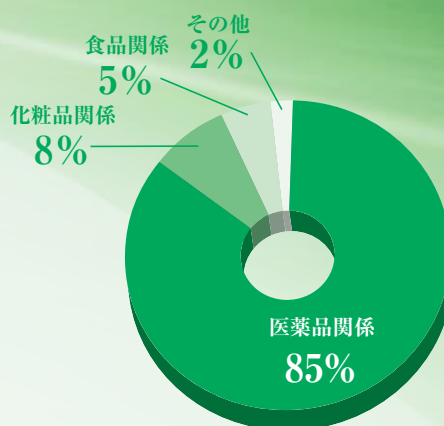
世界に誇れるALPS独自の価値を創造する

バリュー(ビジョン実現のため、大切にしている価値観)

1. 常に向上を目指し、自律的に行動する
2. 社会の視点・お客様の視点を大切にする
3. 現場・現物・現実にもとづき、本質を見極める
4. 失敗や変化を恐れず、チャレンジする
5. 議論とチームワークを大切にする
6. コンプライアンス、安全操業を徹底する
7. 従業員の成長を促し、幸福度を高める
8. 会社の成長を通じて、地域社会に貢献する

アルプス薬品工業について

会社概要	2018年4月現在
社 号	アルプス薬品工業株式会社
創 立	1947年 7月 31日
本社所在地	〒509-4241 岐阜県飛騨市古川町向町二丁目10番50号
資 本 金	9,770万円
従 業 員 数	349名
主 な 事 業	医薬品用原薬の製造
主な事業所	本社工場、上野工場、富山工場 東京営業所、大阪営業所



2017年度販売金額分類比率グラフ

記載対象期間：2017年4月～2018年3月

記載対象範囲：アルプス薬品工業株式会社
本社及び全工場、全営業所

環境方針

- *アルプス薬品工業株式会社は、医薬品メーカーとして最良の技術で最高の製品を生産し、お客様に提供するため、環境影響に十分配慮し、継続的な環境負荷削減に努力いたします。
- *国内外の環境に関わる法令及び当社が受入れた要求事項を順守し、事業活動を行います。
- *環境保護のため、自主的な各種活動を継続して実施します。
- *事業活動において生産性の向上を行い、廃棄物の発生の低減、リサイクル化、省資源、省エネルギーの推進を行い、環境負荷の低減を図ります。
- *環境リスクアセスメントにて環境リスクを把握し、環境管理の継続的な計画・実施・改善など、環境リスクマネジメントシステムの運用を通じて、環境リスクの低減活動を継続的にを行います。
- *生物多様性及び生態系の保護のため、自主的に各種活動を継続して実施します。
- *地域社会との対話を図り、環境情報を適切に開示し、社会とのコミュニケーションを図ります。
- *環境に関する教育訓練を充実し、自ら環境影響を考え行動する従業員を育成します。
- *環境方針は、当社の全社員及び協力会社にも周知徹底し、社外へも公開します。

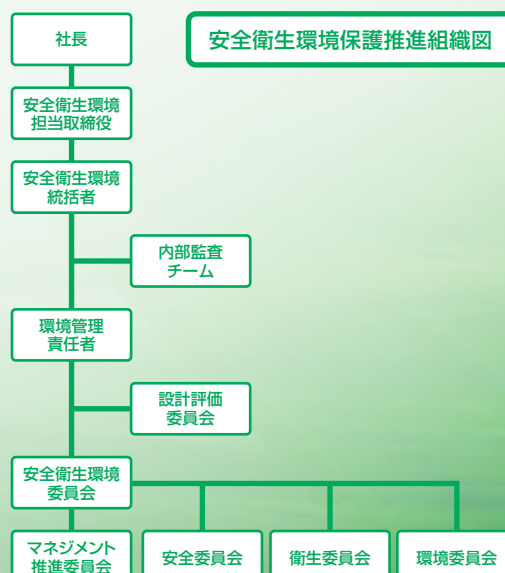
アルプス薬品工業株式会社
代表取締役社長 牛丸 理

環境マネジメントシステム

当社では、環境活動を効果的かつ持続的に取り組むため、環境マネジメントシステムの認証を取得し、継続的な活動を進めています。

また、環境活動継続的改善のため、各委員会を活用し、議論、検討、対応を進める組織を構築しています。

また、内部監査チームを設けて、マネジメントの公平性、妥当性を客観的に監査し、より良い活動へと繋げるため活動しています。



Environmental activity report 2018

2018 環境活動報告書

アルプス薬品工業の活動

当社では主に、医薬品原料を製造しており、エネルギーや原材料の消費や廃棄物の排出等でさまざまな環境負荷をかけています。その事を認識し、全社的にリスク改善活動を推奨し環境負荷の削減にも取り組んで事業活動を行っています。



環境への取り組み



■カンゾウの栽培

資源確保のため、中国でカンゾウの栽培を行っています。乾燥地帯の砂漠化防止にもつながっています。



■センナの栽培

資源確保のため、農作物の生産が難しい乾燥地帯のミャンマーでセンナの試験栽培を行っています。砂漠化防止、現地の製薬技術の向上につながります。

環境への目的・目標

当社にて定めた環境方針を達成するため、目的・目標を定めて取り組んでいます。主な取り組みとしては、2017年度の重点目標を下記の表に記載しました。

◆分類	2017年度目的・目標	2017年度実績
省エネルギー	目的 地球温暖化防止のため省エネルギーとCO ₂ 削減を実施。	エネルギー原単位期初標準を8.45%削減し、目標を上回った。
	目標 エネルギー原単位2017年度期初標準を3%削減する。	
廃棄物管理	目的 廃棄物の排出抑制と適正管理の徹底を図る。	廃棄物原単位期初標準を18.34%削減し、目標を上回った。
	目標 廃棄物搬出の適正化とリサイクル化の推進。2017年度標準原単位を0.5%削減する。	
緊急事故対応	目的 緊急事態の発生源の削減と緊急事態への対応力の向上を図る。	各職場にて環境事故を起こさない為の教育及び訓練を強化。最終放水口自動堰設置後の全体教育実施。
	目標 緊急事態の発生源削減と緊急事態への対応力の向上。	
化学物質管理	目的 環境負荷物質の適正管理の推進と廃液ピットの定期点検。	各部署でのピット点検実施強化と、業者によるピット清掃作業時の異常確認を実施。
	目標 廃液ピットの定期点検を管理し、問題発生時はその原因調査及び対応を確実に実施する。	
環境リスクアセスメント	目的 環境リスクマネジメントの運用管理。	臭気、漏洩等の環境リスク低減と環境リスクの見直し実施。
	目標 環境リスクの見直し及び低減案の実施によるリスク削減。	

事故緊急時対応

緊急事態の発生に備え、速やかに対応できるように、災害や事故を想定した防災訓練や漏洩対応訓練を実施しています。

また、独自に自衛消防隊を構成し、訓練を行い、万が一の火災発生時に備えています。

今後も、緊急事態には、適切な初期対応ができるような人材育成に取り組んでいきます。



■漏洩事故対応訓練



■緊急事態対応訓練

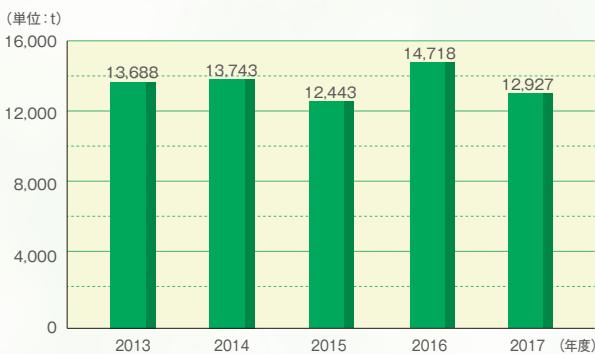
環境リスク削減の観点より漏洩対策として、最終放水口に自動堰を設置し緊急事態に素早い対応が行えるよう、地域環境への配慮にも取り組んでいます。



■最終放水口-自動堰

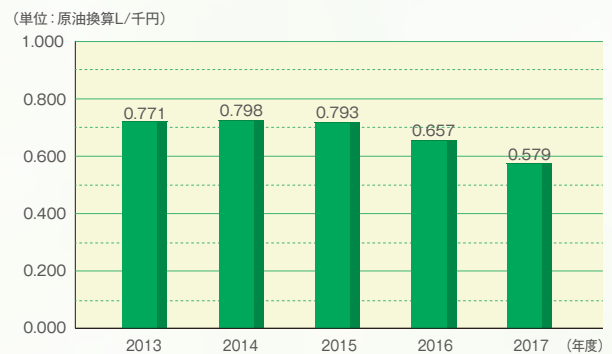
省エネルギー

■CO₂年間排出量



CO₂排出量は、前年比-12%と減少しました。

■エネルギー原単位年度別推移



エネルギー使用量原単位は、製品の収率UPや製造スケジュールの効率化により減少しました。

クーリングタワー

クーリングタワーによる、資源水の使用量の削減と工場内側溝の水量を抑制する事により、漏洩事故発生時の対応力を強化しました。

又、エネルギー効率を向上させるため、クーリングタワーの定期洗浄を実施し、冷却効果の向上を実施しています。



騒音①

24時間稼働工場の改修工事に伴い、工場外壁をスレートからヘーベル(軽量気泡コンクリート)に変更しました。

工場内の機械音など外部への騒音防止に繋がりました。



Environmental activity report 2018

2018 環境活動報告書

騒音②

工場敷地と公園境界線をコンクリート防音壁で仕切ることによって安全性と防音効果による地域環境改善を行いました。



■工場内敷地側

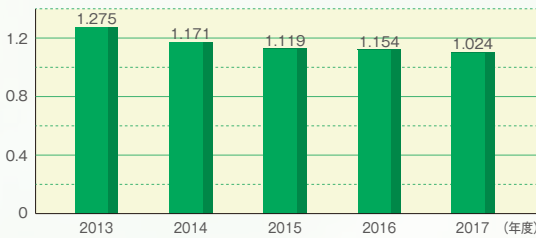


■工場外公園側

廃棄物管理

■廃棄物原単位

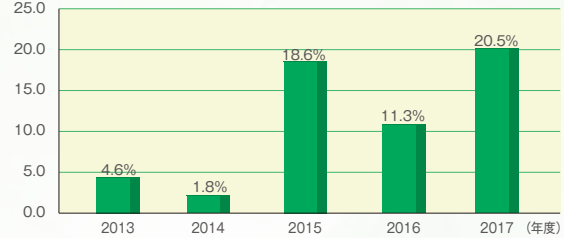
(単位:kg/千円)



廃棄物の排出については、毎年削減に努めております。

■廃液リサイクル率

(単位:%)



2015年度以降、工場廃液のリサイクル化を進めております。



■危険物保管庫



■抽出残渣置場



■再生利用堆肥

当社では生産活動において不要物として発生する廃棄物の有効利用と発生量削減に取り組んでいます。当社の廃棄物の中で最も発生量が多い動植物性残渣においては、発生量のほぼ100%を有効利用(肥料等)しています。また、リサイクル率向上のために、廃棄物の分別と有効利用に取り組んでいます。

定期測定

当社では環境基準の順守状況を監視するため定期的に、工場排水、煤煙、騒音の測定を実施しています。

●2017年度 工場排水測定結果

項目	単位	本社工場		上野工場		富山工場	
		規制値	平均値	規制値	平均値	規制値	平均値
pH		5.8~8.6	7.0	5.8~8.6	7.7	6.0~8.0	7.7
BOD	mg/L	25(20)	4.9	25(20)	10.7	20	1.2
COD	mg/L	160(120)	4.5	160(120)	9.8	160(120)	11.1
SS	mg/L	90(70)	6.9	90(70)	6.1	40	9.3
nヘキサン	mg/L	5	<1	5	<1	5	<0.5
フェノール類	mg/L	0.5	<0.01	0.5	<0.01	—	—
ジクロロメタン	mg/L	0.2	<0.01	0.2	<0.01	—	—
大腸菌群	菌/mL	—	—	—	—	3000	200.1
分析頻度		2回/月		2回/月		1回/月	

本社工場、上野工場では月2回、富山工場では月1回排水の水質検査を実施し、適切な工場排水の確保に努めています。

各工場ともに測定結果は規制値以下です。

● 2017年度 煤煙測定結果

本社工場煤煙測定結果(前期2017年6月12日~13日、後期2017年11月23日~24日)

対象	規制値	煤塵 g/m ³	SO _x K値	NO _x V/Vppm	判定
		0.30	17.5	180	
① No.2貫流式ボイラー (H18工場)	前期	0.013	0.17	82	⊕ 否
	後期	0.035	<0.03	55	
② No.3貫流式ボイラー (H18工場)	前期				⊕ 否
	後期	0.050	<0.03	74	
③ No.4貫流式ボイラー (H18工場)	前期	0.018	0.33	100	⊕ 否
	後期	0.033	<0.06	88	
④ No.5貫流式ボイラー (H18工場)	前期	0.014	0.18	76	⊕ 否
	後期	0.030	<0.03	59	
⑤ No.6貫流式ボイラー (H18工場)	前期	0.014	0.36	97	⊕ 否
	後期	0.036	<0.06	63	
⑥ No.7貫流式ボイラー (H18工場)	前期	0.010	0.17	87	⊕ 否
	後期	0.022	0.03	40	
⑦ 温水ボイラー (事務棟)	前期				⊕ 否
	後期	<0.004	<0.01	46	

本社工場、上野工場の煤煙測定結果は、2工場とも規制値以下です。

また、上野工場廃液焼却炉のダイオキシン類の測定結果も規制値以下です。

上野工場煤煙測定結果(前期2017年6月13日、後期2017年11月23日)

対象	規制値	煤塵 g/m ³	SO _x K値	NO _x V/Vppm	HCl mg/m ³	判定
		0.25	17.5	250	700	
廃液焼却炉 (K-B)	前期	0.036	0.01	130	15	⊕ 否
	後期	0.040	<0.01	97	12	

2017年度ダイオキシン測定結果(2017年6月13日)

対象	規制値	排ガス ng-TEQ/m ³	燃え殻 ng-TEQ/g	処理水 pg-TEQ/l	ばいじん ng-TEQ/g
		上野廃液 焼却炉	実測値	5	3
		1.3	0.062	0.045	

● 2017年度 騒音測定結果

本社工場	時間区分	朝(6:00~8:00)	昼(8:00~19:00)	夕(19:00~23:00)	夜間(23:00~6:00)
	法規制値	60dB	65dB	60dB	50dB
	敷地境界線①	53.1	50.6	47.5	46.2
	敷地境界線②	50.0	49.7	46.5	44.6
	敷地境界線③	48.7	52.5	48.4	46.0
	敷地境界線④	50.4	51.2	47.8	47.6
	敷地境界線⑤	48.1	53.9	50.1	47.4
	敷地境界線⑥	48.6	52.6	47.6	45.4
	敷地境界線⑦	48.0	52.3	46.7	45.0

近隣への配慮として、敷地境界線付近の騒音測定を実施し、状況確認を実施しています。

各工場ともに、測定結果が法規制値以下で問題はありません。

上野工場	時間区分	朝(6:00~8:00)	昼(8:00~19:00)	夕(19:00~23:00)	夜間(23:00~6:00)
	法規制値	60dB	65dB	60dB	50dB
	敷地境界線①	45.9	54.9	48.7	46.2
	敷地境界線②	51.5	51.9	50.4	44.6
	敷地境界線③	44.8	48.4	44.9	46.0
敷地境界線④	47.8	53.8	49.5	47.6	

富山工場	時間区分	朝(6:00~8:00)	昼(8:00~19:00)	夕(19:00~23:00)	夜間(23:00~6:00)
	法規制値	65dB	70dB	65dB	63dB
	敷地境界線①	50.7	47.9	51.2	48.7
	敷地境界線②	48.5	48.7	47.1	47.9
	敷地境界線③	50.6	46.4	47.9	50.6
	敷地境界線④	52.4	51.5	53.6	53.6
敷地境界線⑤	52.8	50.2	53.7	51.5	

● 苦情・問い合わせについて

2017年度は、苦情・問い合わせはありませんでした。

● 地域での活動

地域の清掃活動として、工場周辺の年2回の側溝掃除や道路のゴミ拾いを行い、地域の環境保全に努めています。

また、従業員の家族と共に清掃活動を実施し環境への意識向上を図っています。



環境活動のあゆみ

平成11年 11月	☆上野工場、富山工場 ISO14001 認証取得
平成13年 7月	☆本社工場 ISO14001 認証取得
平成16年 7月	●SGS社による更新審査
平成19年 6月	●SGS社による更新審査
平成22年 6月	●JACO社による更新審査
平成25年 5月	●JACO社による更新審査(東京営業所、大阪営業所も審査対象へ)
平成28年 6月	●JACO社による更新審査
平成29年 6月	●JACO社による維持審査
平成30年 6月	●JACO社による2015年度版移行審査・認証取得



アルプス薬品工業株式会社

Alps Pharmaceutical Ind.Co.,Ltd

<http://www.alps-pharm.co.jp>